

B エンジン

CO 冷却システム

作業上の注意	2	・取り外し、取り付け	10
・液状ガスケット塗布作業に関する注意点	2	・分解、組み立て	11
冷却水	3	ウォーターポンプ	12
・点検	3	・取り外し、取り付け	12
・交換時期	3	ウォーターインレット・サーモスタット ASSY..	16
・抜き取り、注入	3	・取り外し、取り付け	16
ラジエーター	6	ウォーターアウトレット、ウォーターパイプ ング	17
・取り外し、取り付け	6	・取り外し、取り付け	17
クーリングファン	9	サービスデータ	20
・取り外し、取り付け	9	・基準値、限度値	20
補助電動ファン (VQ25DET)	10	・締付トルク	20

A

CO

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意

PFP:00001

液状ガスケット塗布作業に関する注意点

JBS00EBW

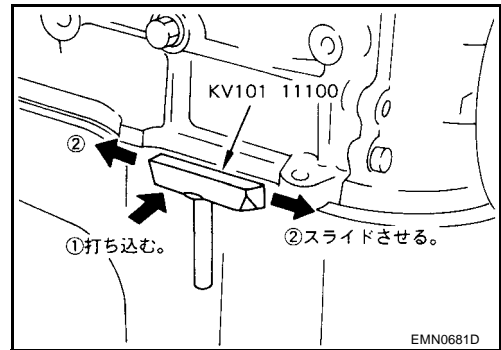
液状ガスケット塗布部品の切り離し

- 取付ボルト・ナットを取り外し後、シールカッター（特殊工具）を用いて液状ガスケットを切り離し、取り外す。

注意： 合わせ面に傷を付けないように注意すること。

- シールカッターが使用しにくい部位はプラスチックハンマーで軽打して取り外す。

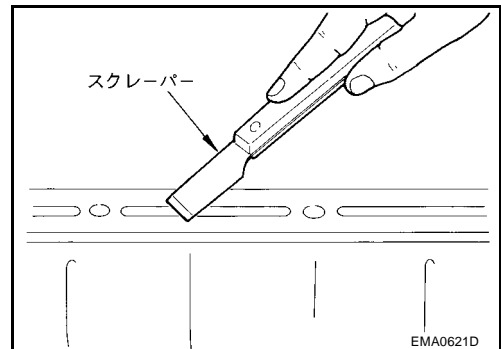
注意： やむを得ずマイナスドライバー等を使用する場合は特に合わせ面に傷が付かないよう注意すること。



EMN0681D

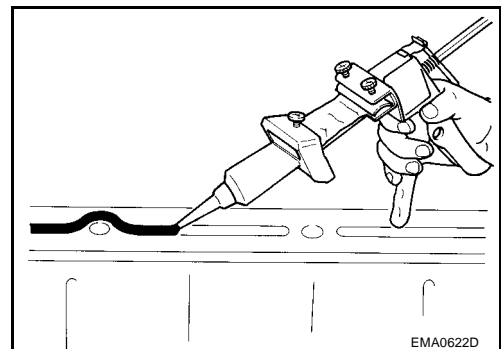
液状ガスケットの塗布要領

- 液状ガスケットの塗布面及び相手側取付面に付着した古い液状ガスケットをスクレーパーで取り除く。
 - 塗布面溝部、取付ボルト及びボルト穴ネジ部の液状ガスケットも完全に取り除く。
- ホワイトガソリンなどで塗布面及び相手側取付面を拭いて、付着した水分、油脂、異物を取り除く。
- 純正液状ガスケットをチューブプレッサー（汎用工具）に取り付ける。



EMA0621D

- 指示された箇所及び寸法で切れ目なく塗布する。
 - 液状ガスケット塗布用溝のある箇所は、溝部に塗布する。
 - ボルト穴部は、原則内側に塗布する。外側に塗布する場合もあるので本文を必ず参照する。
 - 塗布後、5分以内に取り付ける。
 - はみ出した液状ガスケットはすぐに拭き取る。
 - 取り付け後の増し締めは行わない。
 - エンジンオイル、冷却水の注入は、取り付け後 30 分以上経過してから行う。



EMA0622D

注意： 本文中に指示のある場合はそれに従うこと。

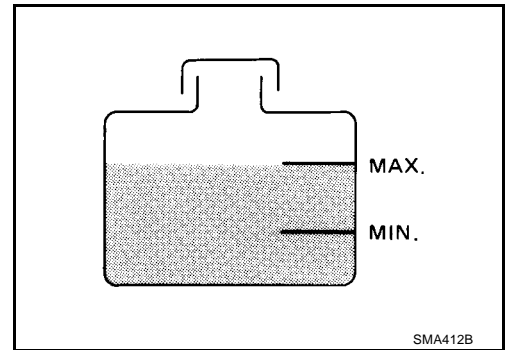
冷却水
点検

PFP:00018

JBS00EBX

水量点検

- エンジン冷機状態で、リザーバタンクの冷却水レベルが MIN ~ MAX の範囲内にあるか点検する。
- 過不足がある場合は調整する。



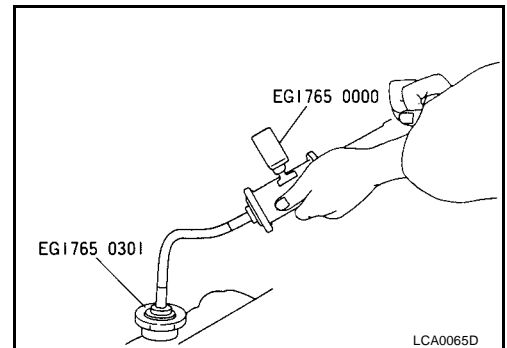
漏れ点検

- ラジエーターキャップテスターで冷却水システムを加圧したとき、冷却水システムから冷却水の漏れがないか点検する。

加圧限度 : 0.1 MPa {1.0 kg/cm²}

- 注意:**
- 点検はエンジン冷機状態で行うこと。
 - ラジエーターフィルターネックが変形しないようキャップテスター~フィルターネック間はホースアダプターを使用すること。
 - ラジエーターを損傷するおそれがあるため、加圧限度を守ること。

- 異常がある場合は該当個所の修理、交換を行う。



交換時期

JBS00EBY

自家用乗用 : 初回3年、以降2年ごと
事業用等 : 2年ごと

抜き取り、注入

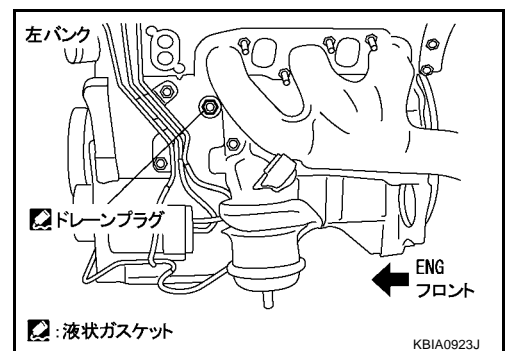
JBS00EBZ

抜き取り

注意: 冷却水温が十分に下がった状態で行うこと。

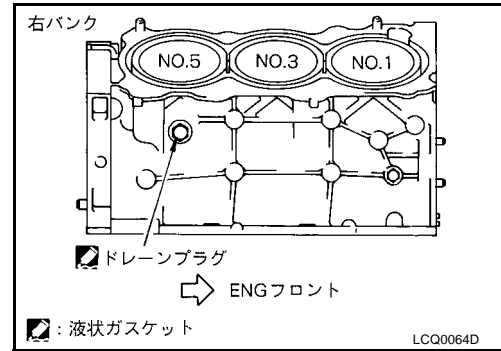
1. アンダーカバーを取り外す。
2. ラジエータードレーンプラグを外し、ラジエーターキャップを外して冷却水を抜き取る。
3. シリンダーブロックのドレーンプラグを外し、シリンダーブロック内の冷却水を抜き取る。

- ドレーンプラグ取付位置
シリンダーブロック左バンク側前方
参考: 図は VQ30DD を例に示す。

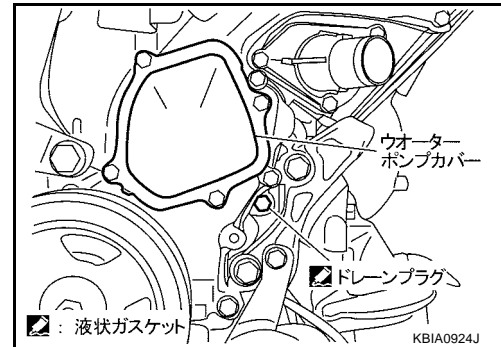


冷却水

シリンダーブロック右バンク側後方



ウォーターポンプカバー下側



4. リザーバタンク内の冷却水を排出する。

注入

- 冷却水量〔リザーバタンク（MAX レベル）容量を含む〕：約 8.5 ㍓（全車）
- LLC 濃度

標準	: 30%
寒冷地	: 50%

1. リザーバタンクを取り付ける。
2. ラジエータードレーンプラグ、シリンダーブロックドレーンプラグを取り付ける。
 - シリンダーブロックのドレーンプラグはネジ部にシーラ剤（スリーボンド 1215 相当）を塗布する。

締付トルク

シリンダーブロック左バンク側	: 17.6 ~ 21.6N・m { 1.8 ~ 2.2kg・m }
シリンダーブロック右バンク側	: 17.6 ~ 21.6N・m { 1.8 ~ 2.2kg・m }
ウォーターポンプカバー下側	: 7.8 ~ 11.8N・m { 0.8 ~ 1.2kg・m }

参考：新品のウォーターポンプカバー下側ドレーンプラグを使用する場合は、4.0 ~ 8.0N・m { 0.41 ~ 0.82kg・m } で締め付ける。（シーラ剤塗布不要）

3. 各ホースクランプ、ドレーンプラグの締め付けを確認する。
4. エア抜きプラグを取り外す。

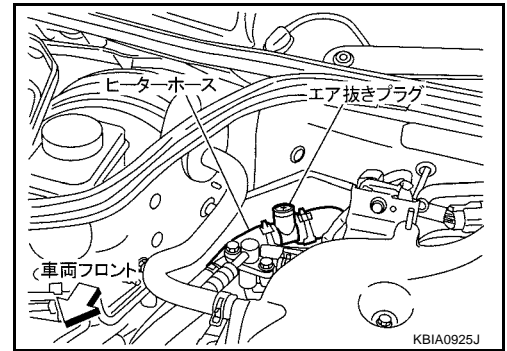
冷却水

参考：図は VQ25DD・VQ30DD を例に示す。

- 2 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ (ヤカンで水を注ぐ程度) 以下の注水速度で冷却水をラジエーターキャップ口元いっぱいまで注入する。

注意： 注入速度が早いとエア混入の原因となるため上記速度以下でゆっくり注入すること。

- 途中でエア抜きプラグ取付箇所から冷却水が噴き出したら、プラグを締めてキャップ口元いっぱいまで再び注入する。
- エア抜きプラグの O リングは交換する。



締付トルク : 0.78 ~ 1.6N・m { 0.08 ~ 0.16kg・m }

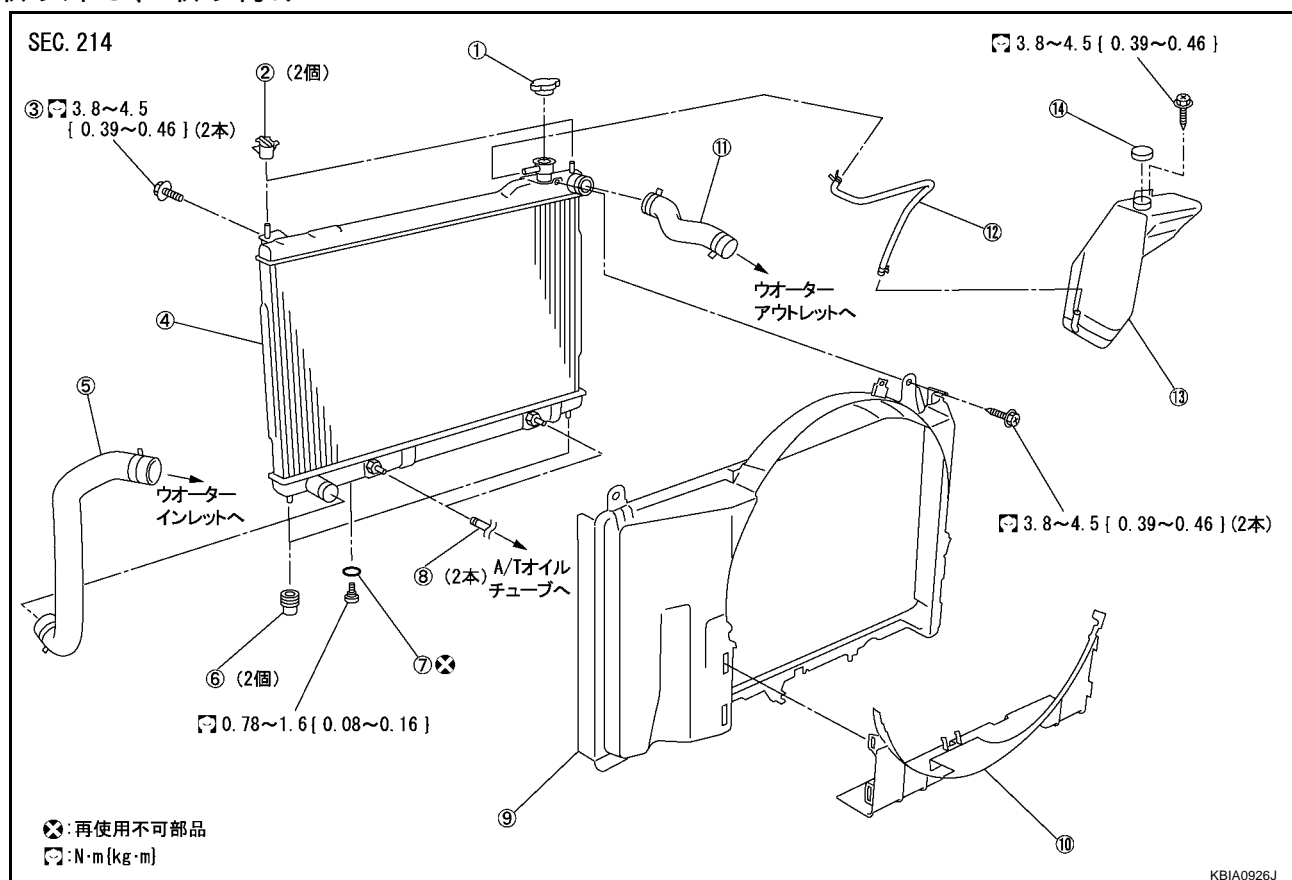
- リザーバタンクの “MAX” ラインまで冷却水を補充する。
- ラジエーターキャップを閉じてエンジンを始動する。
- サーモスタットが開弁するまで暖機する。暖機時間は 3000rpm で約 10 分間を目安とする。
注意： 水温の上がり過ぎに注意すること。
 - サーモスタットの開弁は、ラジエーターロアホースを手で触って温水が流れていることで開弁状態を確認する。
- エンジンを停止する。
- 冷機後 (約 50°C 以下) ラジエーターキャップを外し、冷却水の液面を確認する。液面が下がっている場合は再度ラジエーターキャップ口元いっぱいになるまで補水し、7. 以降の作業を繰り返す。
- 液面が下がらなくなったらリザーバタンクの “MAX” ラインまで冷却水を補充する。

流水音の確認

- エンジンを冷機状態 (約 50°C 以下) にする。
注意： 窓、ドア、フードを閉めラジオ等も OFF にすること。
- エンジンを始動し、エンジン回転 1000rpm で約 30 秒間維持した後、1000rpm から 3000rpm まで緩加速していく操作を 1 サイクルとし 3 サイクル行う。
- 上記 2. の操作中にヒーターコアよりの流水音が聞こえないことを確認する。
- 流水音が聞こえる場合、冷却水の注入 5. から流水音確認方法 3. までを繰り返す。

ラジエーター
取り外し、取り付け

JBS00EBV



- | | | |
|---------------------|----------------------|--------------------|
| 1. ラジエーターキャップ | 2. マウントブラケット | 3. エアコンコンデンサー取付ボルト |
| 4. ラジエーター | 5. ラジエーターホース (ロア) | 6. マウントラバー |
| 7. Oリング | 8. A/Tオイルクーラーホース | 9. ラジエータシュラウド |
| 10. ラジエータシュラウド (ロア) | 11. ラジエーターホース (アッパー) | 12. リザーバートankホース |
| 13. リザーバートank | 14. キャップ | |

警告: エンジンが熱いときラジエーターキャップ等を外さないこと。ラジエーターから熱湯が吹き出し、重大な傷害につながる恐れがある。

注意: 冷却水の抜き取りは冷機状態で行うこと。

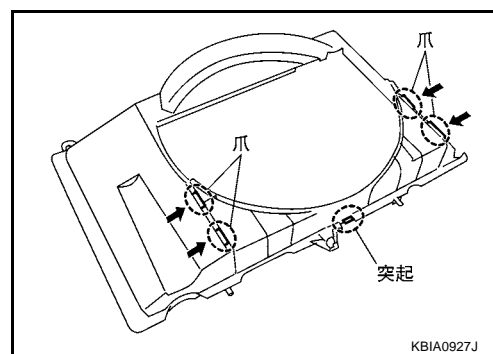
取り外し

- アンダーカバーを取り外す。
- ラジエーターキャップを外し、ドレインプラグを外して冷却水を抜き取る。

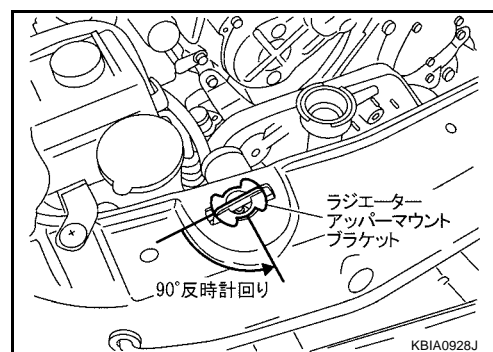
警告: エンジンが熱いときラジエーターキャップ等を外さないこと。ラジエーターから熱湯が吹き出し、重大な傷害につながる恐れがある。
- エアダクト (外気導入側)、エアクリーナーケースを取り外す。[「エアクリーナー、エアダクト」\(EM-10 ページ\)](#)を参照する。
- A/Tオイルクーラーホースを外し、A/Tフルードが漏れないようホース側に栓 (プラグ) を取り付け。
- ラジエーターホース (アッパー、ロア) を取り外す。

ラジエーター

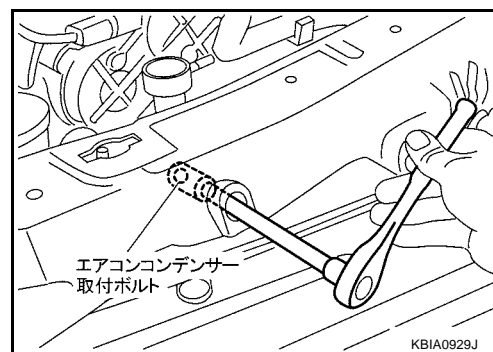
6. ラジエーターシュラウド（ロア）を取り外す。
 - 左右の爪を矢印方向に押しながら、手前に引いて取り外す。
7. ラジエーターシュラウドを取り外す。
8. クーリングファンを取り外す。



9. ラジエーターアッパーマウントブラケット（2個）を図の方向に90°回して取り外す。
10. 車両左側のエアコン配管固定用ブラケット取付ボルトを外し、エアコン配管を可動状態にする。



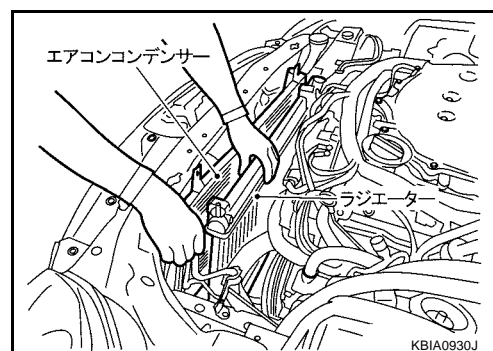
11. ラジエーター上部のエアコンコンデンサー取付ボルト（2本）を外す。
 - ラジエーターコアサポートに設けた丸穴に、ソケットレンチを差し込んで取り外す。



12. エアコンコンデンサーを約 2cm 程度持ち上げ、ラジエーター下部でのマウント部のかん合を外した状態でラジエーターを取り外す。

注意：• エアコン配管に負担をかけないように持ち上げ過ぎに注意すること。

 - エアコンコンデンサー及びラジエーターのコアに傷を付けないよう取り外すこと。
 - ラジエーター取外後、エアコン配管に負担がかからないようエアコンコンデンサーを車両側にロープ等で固定すること。

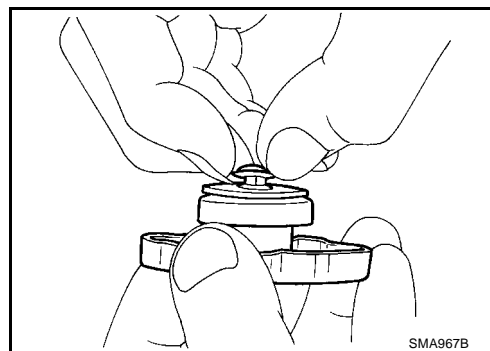


ラジエーターキャップの点検

- ラジエーターキャップ負圧弁のバルブシートに汚れ、損傷がないか点検する。

ラジエーター

- 負圧弁を動かし、開閉状態に異常がないか点検する。

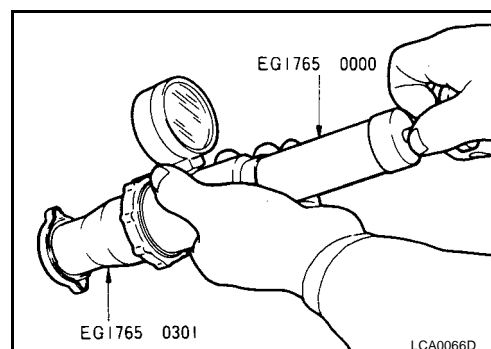


- ラジエーターキャップテスターを接続し、加圧して圧力調整弁の開弁圧を点検する。

基準値 : 0.08 ~ 0.1 MPa { 0.8 ~ 1.0 kg/cm² }

限度値 : 0.06 MPa { 0.6 kg/cm² }

- テスターにラジエーターキャップを取り付ける際は、キャップのシール部に水又はLLCを塗布する。
- 負圧弁に異常がある場合又は開弁圧が限度値を越えた（下回った）場合はラジエーターキャップを交換する。



ラジエーターの点検

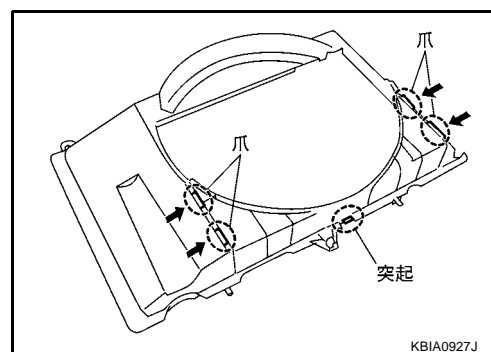
ラジエーターの泥や詰まりを点検し、以下に従って取り除くこと。

- ラジエーターフィンを曲げたり、傷つけたりしないこと。
 - ラジエーターを車載状態で掃除するときは周囲の部品を取り外し、ハーネスやコネクターは濡れないようにテープ等で覆うこと。
1. ホースの水をラジエーターの裏側から垂直にあてる。
 - 連続して同じ箇所に放水することなく洗浄を繰り返す。
 2. ラジエーターから汚れが出てこなくなるまで洗浄する。
 3. ラジエーターの裏側から垂直にエアブローする。
 - ラジエーターから 30cm 以上離し、490kPa { 5kg/cm² } より低い圧力で行うこと。
 - 連続して同じ箇所にエアブローすることなく、水が切れるまでエアブローを繰り返す。

取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で取り付ける。

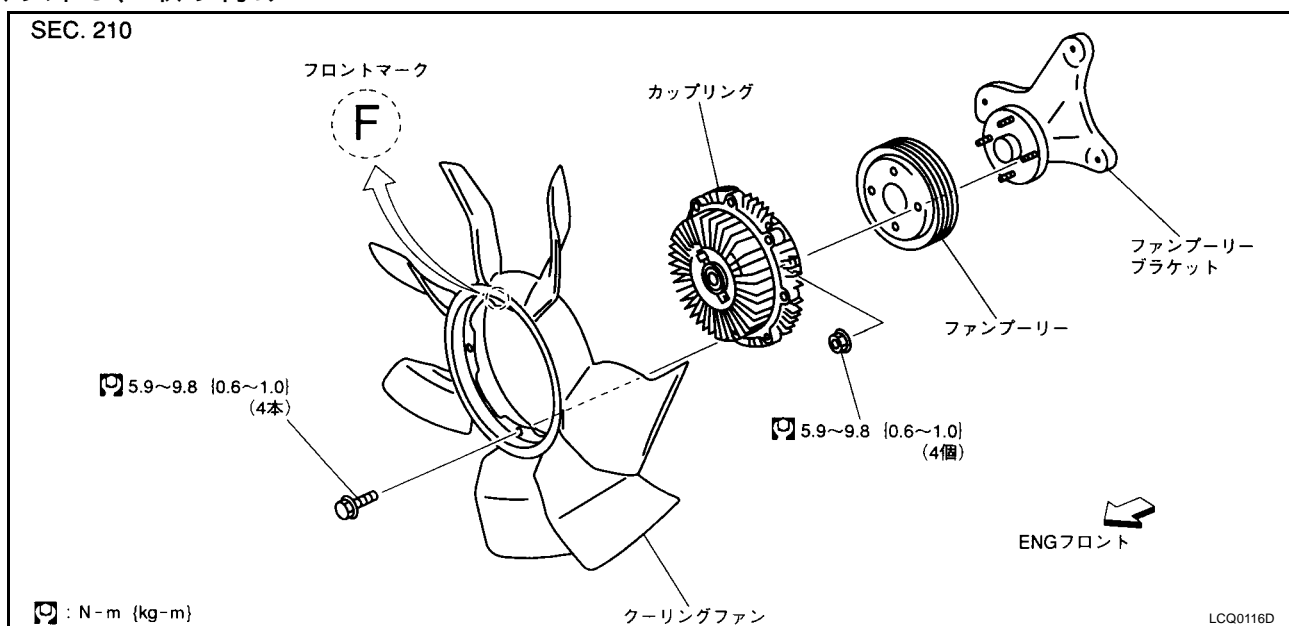
- ラジエーターシュラウド取付ボルトは純正部品を使用し、規定トルクを厳守すること。
- ラジエーターシュラウド（ロア）は、ラジエーターシュラウド側中央の突起にロア側の切り欠きを合わせ、左右の爪を挿入して取り付ける。



クーリングファン
取り外し、取り付け

PF:21060

JBS00ECO



取り外し

1. エアダクト（外気導入側）を取り外す。「[エアクリーナー、エアダクト](#)」(EM-10 ページ) を参照する。
2. アンダーカバーを取り外す。
3. ラジエーターシュラウド（ロア）を取り外す。「[ラジエーター](#)」(CO-6 ページ) を参照する。
4. オルタネーター・パワステポンプ・ファンベルトを取り外す。「[補機ベルト](#)」(EM-8 ページ) を参照する。
5. クーリングファンを取り外す。
注意：ラジエーターコアに傷を付けないよう注意すること。
6. カップリングとファンプーリーを取り外す。

取り外し後の点検

- ファンカップリングにシリコンオイルの漏れ、バイメタルの曲がりがないか、滑らかに回転するか点検する。

取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で取り付ける。

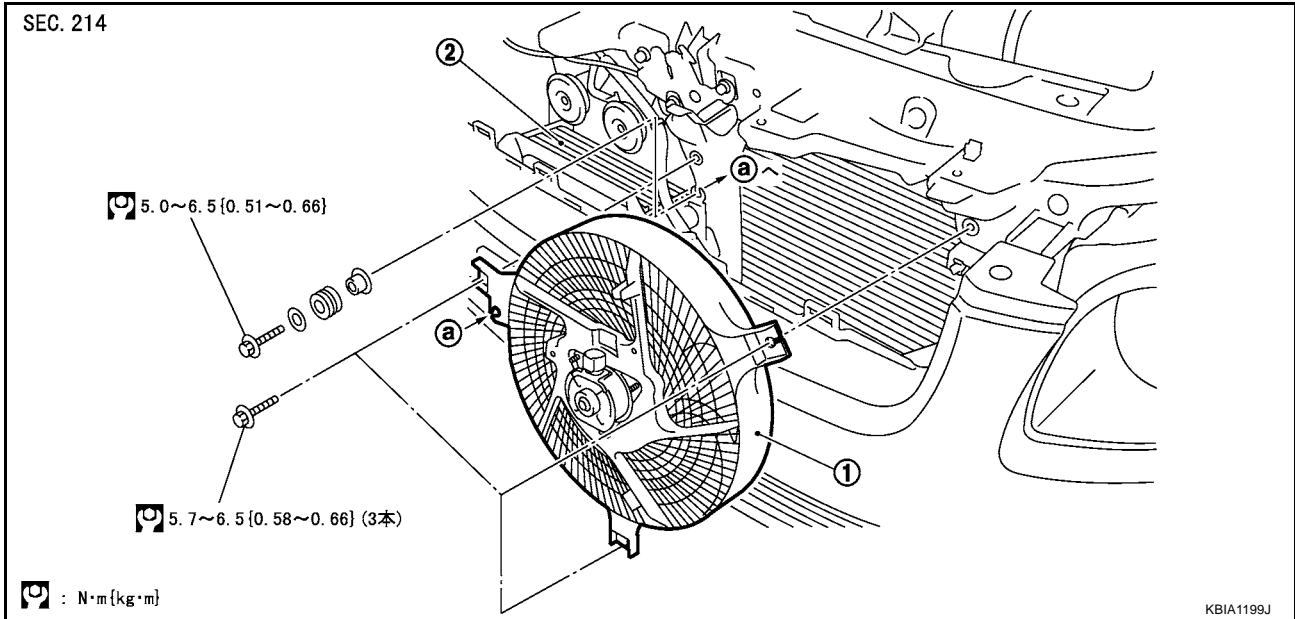
- クーリングファンはフロントマーク「F」を前方に向けて取り付ける。「構成図」[「取り外し、取り付け」](#)(CO-9 ページ) 参照

補助電動ファン (VQ25DET)

PF92120

取り外し、取り付け

JBS00EC1



1. 補助電動ファン

2. インタークーラー

取り外し

1. フロントグリルを取り外す。「[フロントグリル](#)」(E1-12 ページ) を参照する。
2. ファンモーターからコネクターを外してハーネスを移動する。
3. インタークーラー取付ボルト (左右) を取り外す。「[インタークーラー \(VQ25DET\)](#)」(EM-14 ページ) を参照する。

参考: インタークーラー取付ボルト (左) は補助電動ファンのグリルを止め点としている。また、補助電動ファンの右側はインタークーラー~ラジコアサポート間に挟まれた場所に位置する。

4. 取付ボルト (3本) を外し、インタークーラーを可能な範囲で手前に引きながら補助電動ファンを車両左側に抜き出して取り外す。
 - 補助電動ファンを回し、取付ボルト用ステー部の位置を変えながら抜き出す。

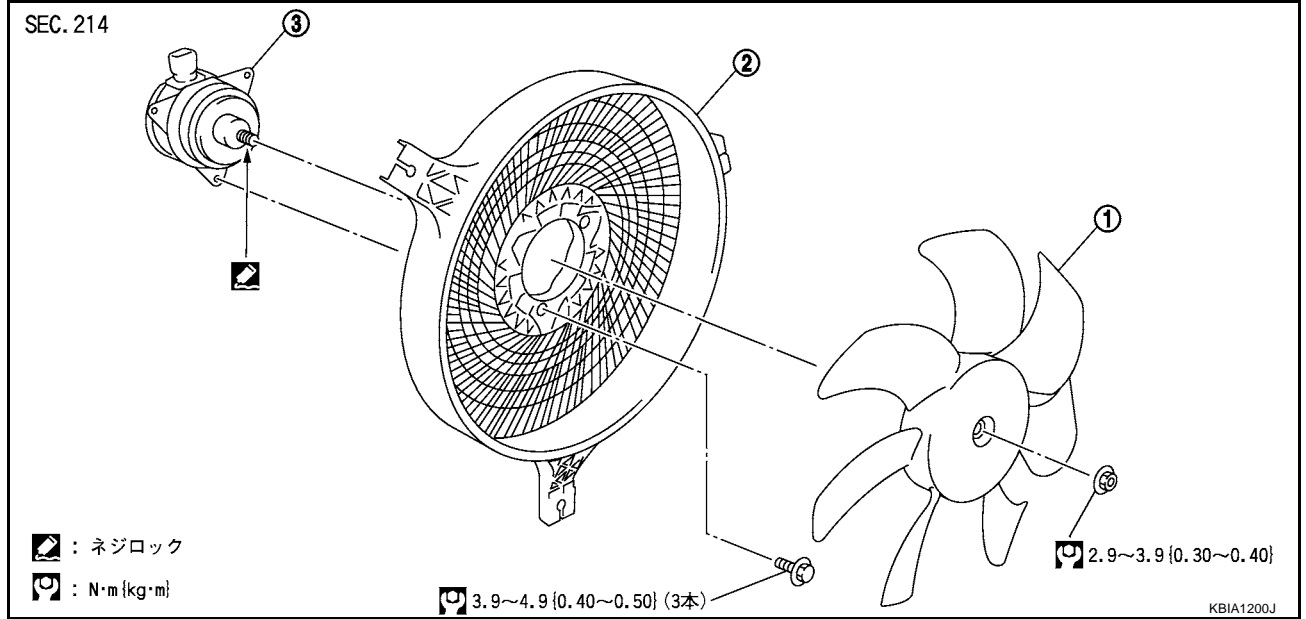
注意: エアコンコンデンサーに傷を付けないよう注意すること。

取り付け

- 取り外しと逆の手順で取り付ける。

分解、組み立て

JBS00EC2



1. ファン

2. ファングリル

3. ファンモーター

分解

1. モーターシャフトからファンを取り外す。
2. ファングリルからモーターを取り外す。

組み立て

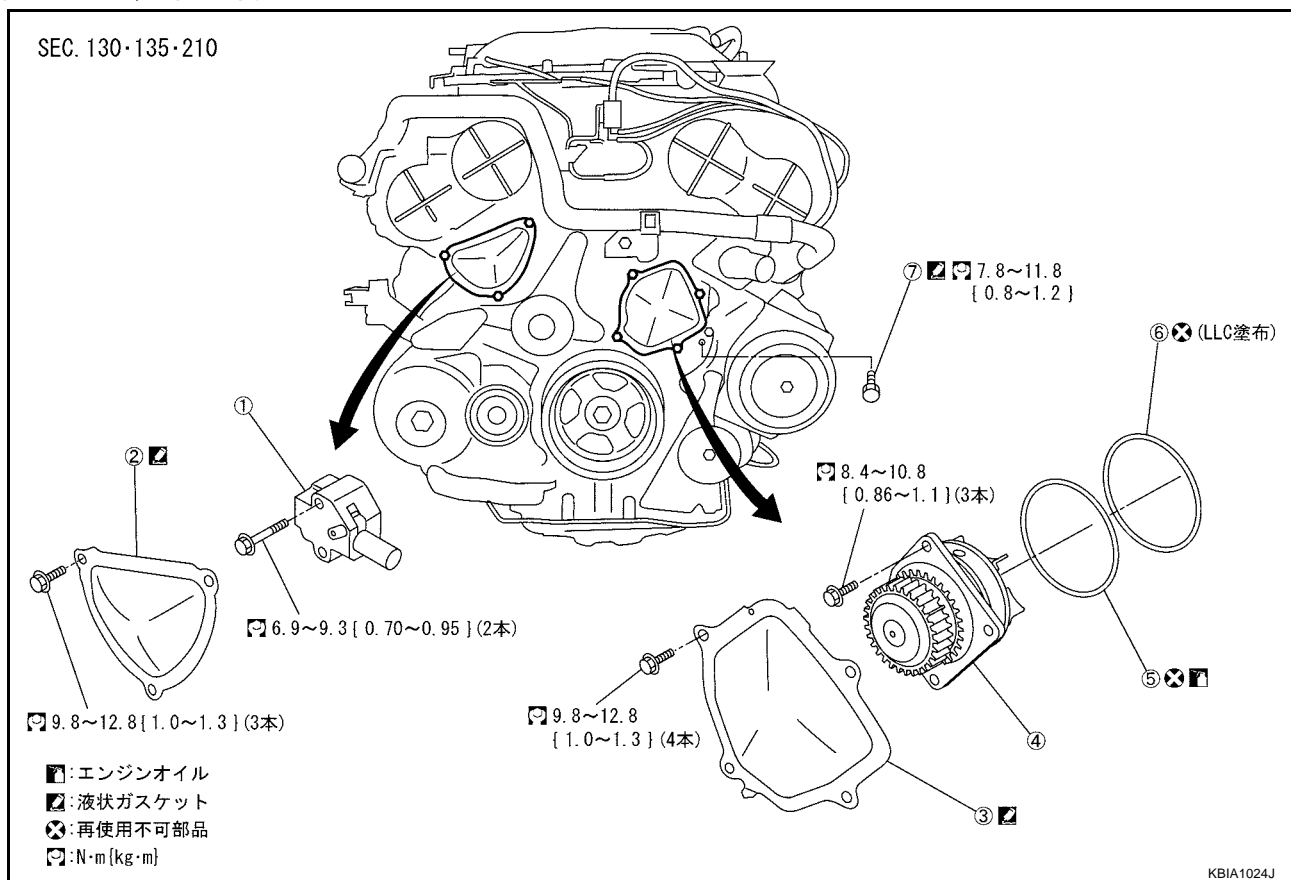
以下に注意して、取り外しと逆の手順で取り付ける。

- ファン取付時、モーターシャフトネジ部に接着剤 (スリーボンドネジロックスーパー 1303 相当品) を塗布して取付ナットを締め付ける。

ウォーターポンプ 取り外し、取り付け

PPF:21020

JBS00EC3



- | | | |
|---------------|------------------|----------------|
| 1. チェーンテンショナー | 2. チェーンテンショナーカバー | 3. ウォーターポンプカバー |
| 4. ウォーターポンプ | 5. Oリング (オレンジ色) | 6. Oリング (黒) |
| 7. 冷却水ドレーンプラグ | | |

取り外し

1. アンダーカバーを取り外す。
2. 補機ベルトを取り外す。「[補機ベルト](#)」(EM-8 ページ) を参照する。

3. ラジエーターから冷却水を抜き取る。

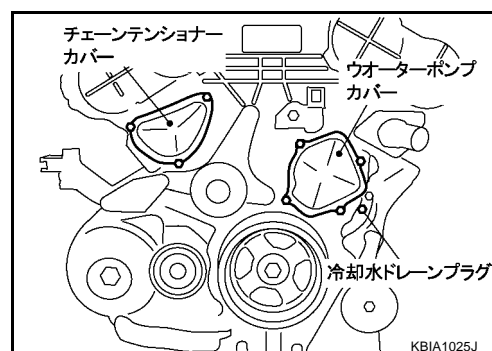
注意: エンジン冷機状態で作業を行うこと。

4. エアダクト (外気導入側) を取り外す。
5. ラジエーターホース (アッパー、ロア) を取り外す。
6. ラジエーターシュラウドを取り外す。
7. クーリングファン、カップリング、ファンブリーを取り外す。「[クーリングファン](#)」(CO-9 ページ) を参照する。

8. シリンダーブロックから冷却水を抜き取る。「[冷却水](#)」(CO-3 ページ) を参照する。

注意: シリンダーブロック左右のドレーンプラグから冷却水を抜いた場合でも、ウォーターポンプカバー右下のドレーンプラグから完全に抜き取ること。

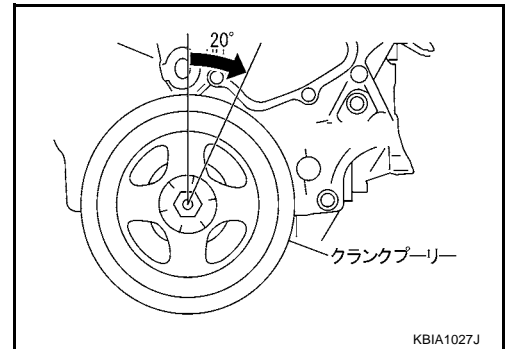
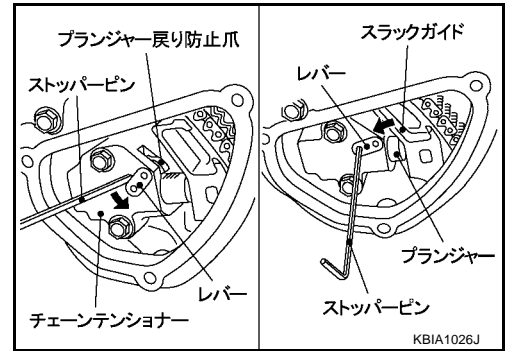
9. ウォーターポンプカバーを取り外す。
10. チェーンテンショナーカバーを取り外す。



ウォーターポンプ

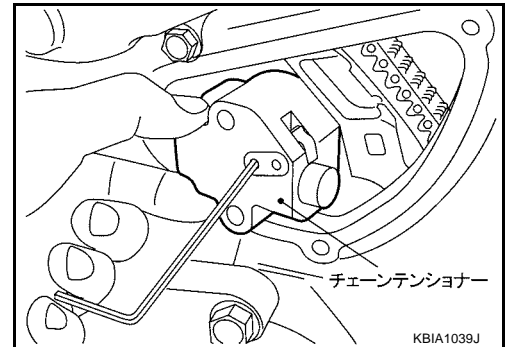
11. 以下の手順でチェーンテンショナーを取り外す。

- a. レバーを下に下げて、プランジャー戻り防止爪を開放する。
 - プランジャー戻り防止爪を押し上げて、開放しても可(レバーと同軸構造)
- b. ストッパーピンをテンショナーボディの穴に入れてレバーを固定し、開放状態を保持する。
参考：図のストッパーピンは 2.5mm 用の六角棒レンチを一例として使用
- c. スラックガイドを押し付けて、プランジャーをテンショナーボディ内に押し込む。
- d. 押し込んだ状態でスラックガイドを保持し、レバー穴とボディ穴にストッパーピンを貫通させて固定する。
- e. クランクプーリーを 20° 程度時計回りにし、チェーンテンショナー側のタイミングチェーンをたるませて余裕を持たせる。



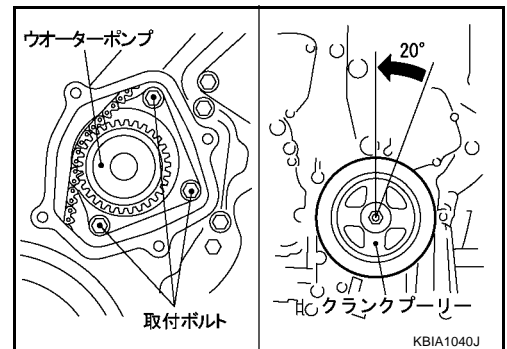
f. チェーンテンショナーを取り外す。

注意： 取付ボルトをチェーンケース内に落とさないよう注意すること。



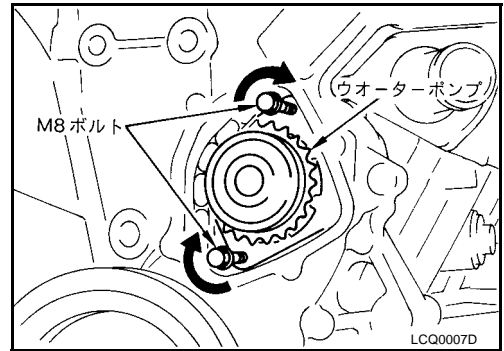
12. ウォーターポンプを取り外す。

- a. ウォーターポンプ取付ボルトを外す。
- b. クランクプーリーを 20° 程度反時計回りに回し、ウォーターポンプ側のタイミングチェーンをたるませて余裕を持たせる。



ウォーターポンプ

- c. ウォーターポンプの上下取付ボルト穴に設けた取り外し用のネジ部に M8X1.25 ボルト（首下約 50mm）をねじ込み、交互に半回転ずつ均等に締め込んでウォーターポンプを抜き出す。
- 取付部インローにベーンが当たって傷が付かないようまっすぐ抜き取る。
 - スプロケット部がタイミングチェーンと干渉しないよう取り外す。



13. ウォーターポンプから O リング（2 個）を取り外す。

取り外し後の点検

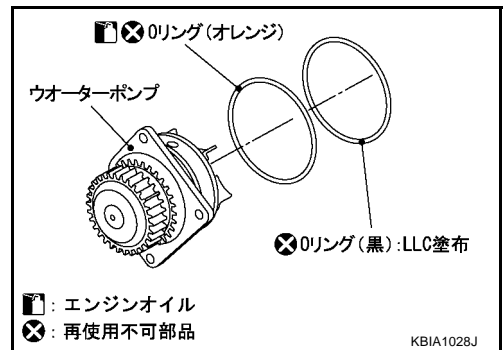
- ウォーターポンプ本体及びベーンに著しいさびや汚れの付着がないか点検する。
- ウォーターポンプにガタがないか点検する。

取り付け

1. ウォーターポンプに O リングを取り付ける。

- O リング取付溝に異物の付着がないよう清掃する。
- オレンジの O リングをエンジンフロント側（スプロケット側）に、黒の O リングをリヤ側（ベーン側）に取り付ける。（2001 年 11 月生産まで）

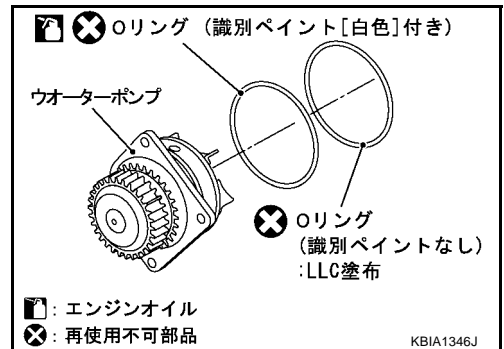
参考：ウォーターポンプの O リング（エンジンフロント側）識別色をオレンジから黒色地に白ペイント付きとしました。（2001 年 12 月生産より）



- 識別ペイント（白色）付きの O リングをエンジンフロント側（スプロケット側）に、識別ペイントなしの O リングをリヤ側（ベーン側）に取り付ける。（2001 年 12 月生産より）

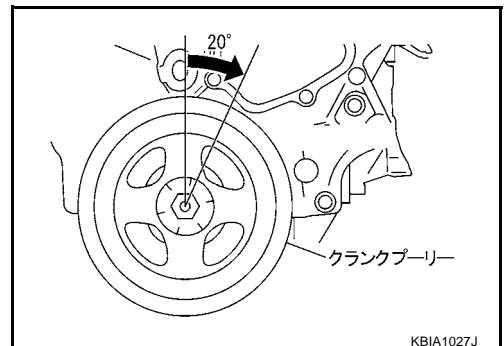
2. ウォーターポンプを取り付ける。

- O リング全周（オレンジ：2001 年 11 月生産まで、識別ペイント（白色）：2001 年 12 月生産より）にエンジンオイルを塗布する。
- O リング全周（黒：2001 年 11 月生産まで、識別ペイントなし：2001 年 12 月生産より）に LLC を塗布する。
- シリンダーブロックにまっすぐ挿入する。
- O リングがずれないように注意する。
- 取付ボルトを交互に均等に締め付けてウォーターポンプを圧入する。
- タイミングチェーンがウォーターポンプスプロケットと噛み合っていることを確認する。



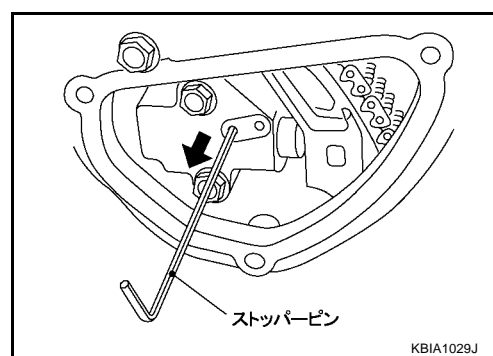
3. チェーンテンショナーを取り付ける。

- a. チェーンテンショナー裏面及びリヤタイミングチェーンケース側取付面のゴミ、異物を完全に取り除く。
- b. クランクプーリーを 20° 程度時計回りに回し、チェーンテンショナー側のタイミングチェーンをたるませて余裕を持たせる。

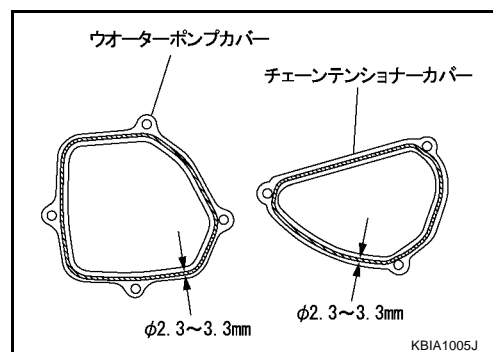


ウォーターポンプ

- c. プランジャーをストッパーピンで固定した状態でチェーンテンショナーを取り付ける。
- d. 取り付け後、ストッパーピンを抜き取って、プランジャーを解放する。



4. ウォーターポンプカバー、チェーンテンショナーカバーを取り付ける。
 - a. 各カバー裏面とフロントタイミングチェーンケースの取付面及び取付ボルトネジ部とネジ穴に付着した古い液状ガスケットをスクレーパーで取り除く。
 - ホワイトガソリンで取付面を清掃する。
 - b. 図の位置にスリーボンド 1207C (KP510 00150) を 2.3 ~ 3.3mm で切れ目なく塗布する。
 - c. 取付ボルトを締め付ける。



5. ドレーンプラグを取り付ける。「[冷却水](#)」(CO-3 ページ) を参照する。
 - ネジ部にスリーボンド 1215 を塗布して締め付ける。

参考：新品のドレーンボルトを使用する場合は、液状ガスケットの塗布は不要で、以下のトルクで締め付ける。

締め付トルク : 4.0 ~ 8.0N·m { 0.41 ~ 0.81kg·m }

6. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。

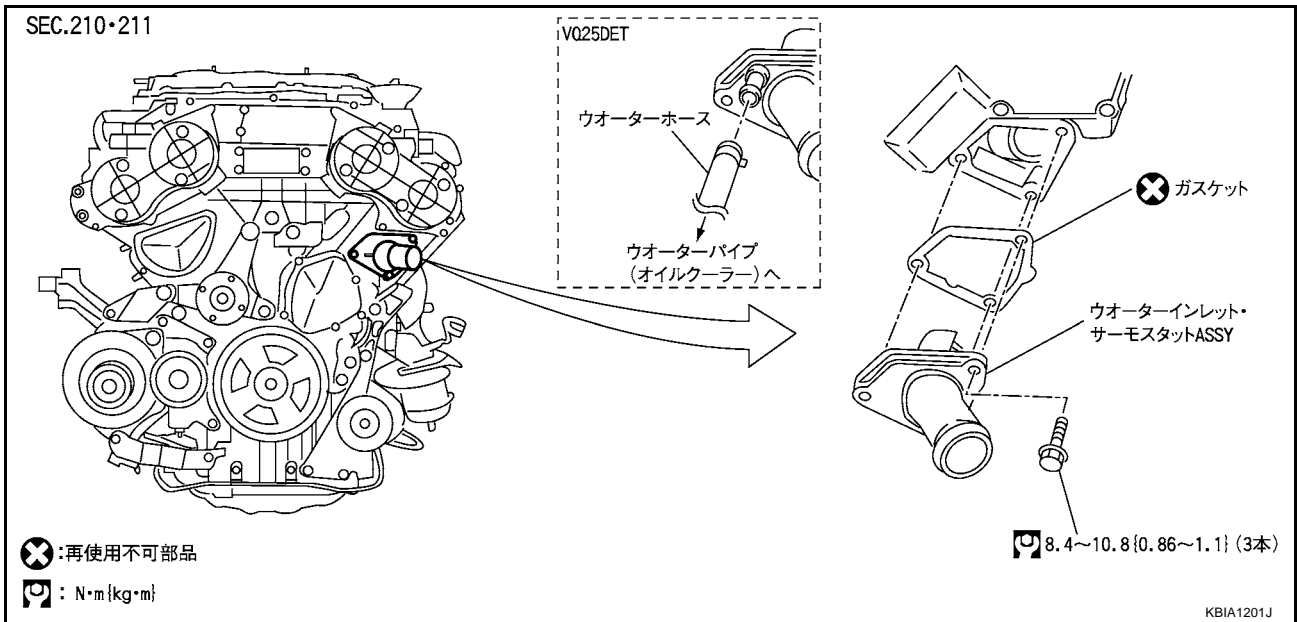
参考：チェーンテンショナーの脱着作業後のエンジン始動時、又は始動直後にエンジン打音が発生することがあるが異常ではない。チェーンテンショナー内の油圧低下によるもので油圧が上昇すると打音は解消する。

ウォーターインレット・サーモスタット ASSY

PFP:21200

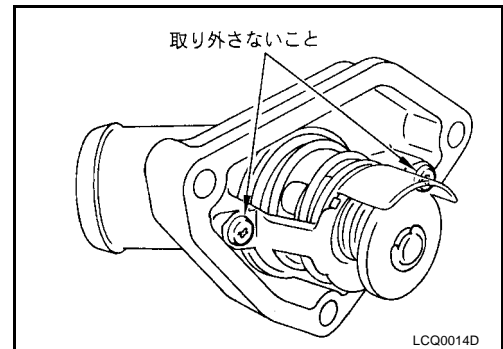
取り外し、取り付け

JBS00EC4



取り外し

1. アンダーカバーを取り外す。
2. 冷却水を抜き取る。
注意: エンジン冷機状態で作業を行う。
3. エアダクト (外気導入側) を取り外す。**「エアクリーナー、エアダクト」(EM-10 ページ)** を参照する。
4. ウォーターインレット・サーモスタット ASSY からラジエーターロアホースを外す。
5. ウォーターインレット・サーモスタットからオイルクーラー用ウォーターホースを外す。(VQ25DET)
6. ウォーターインレット・サーモスタット ASSY を取り外す。
• 冷却水が出るので受け皿等を用意する。
注意: 図のスクリューを外して分解しないこと。

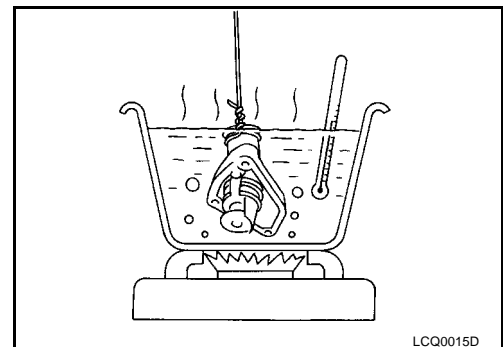


取り外し後の点検

- 常温でサーモスタットのバルブが完全に閉じているか点検する。
- サーモスタットを水の入った容器に入れ、かくはんしながら加熱して開弁温度、最大リフト量を点検する。
- 水温を下げて閉弁温度を点検する。

基準値

- サーモスタット開弁温度 : 82°C (標準、寒冷地共)
- 最大リフト量 : 8.6mm(95°C 時)
- サーモスタット閉弁温度 : 77°C



取り付け

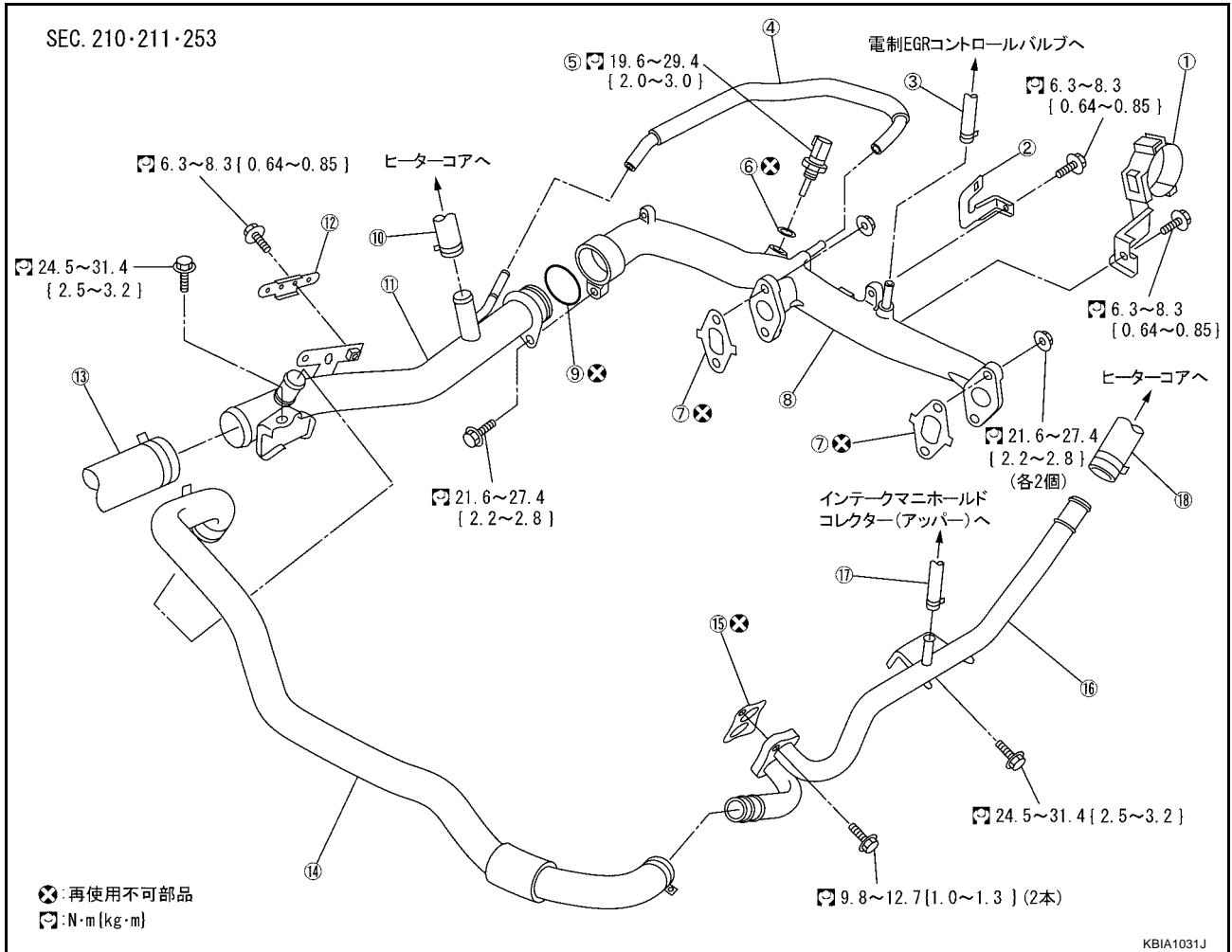
取り外しと逆の手順で取り付ける。

ウォーターアウトレット、ウォーターパイピング
取り外し、取り付け

PF1:11060

JBS00EC5

VQ25・30DD

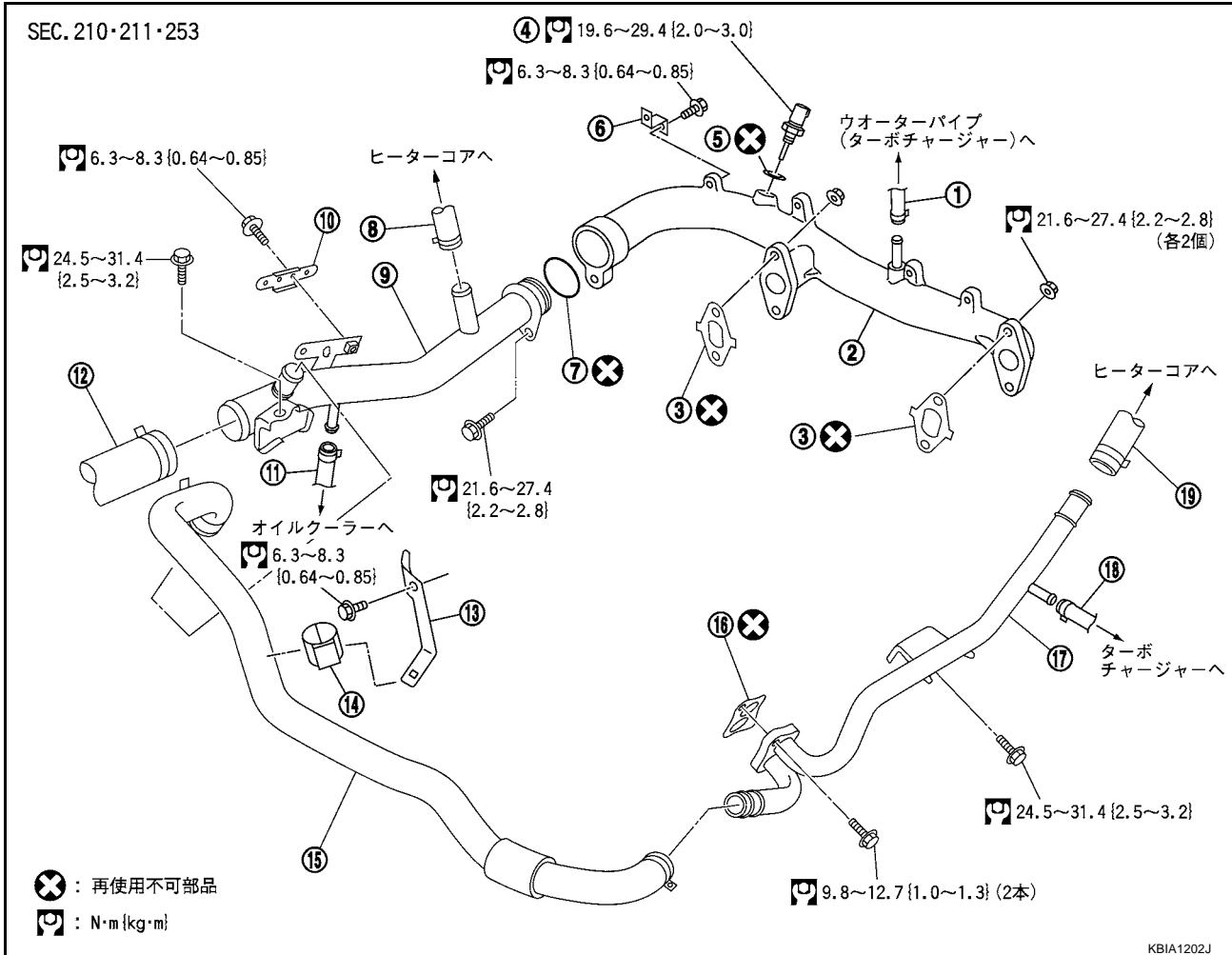


- | | | |
|-------------------|------------------|---------------|
| 1. ハーネスブラケット | 2. ハーネスブラケット | 3. ウォーターホース |
| 4. ウォーターバイパスホース | 5. 水温センサー | 6. 銅ワッシャー |
| 7. ガasket | 8. ウォーターアウトレット | 9. Oリング |
| 10. ヒーターホース | 11. ウォーターパイプ | 12. ハーネスブラケット |
| 13. ラジエーターアッパーホース | 14. ウォーターバイパスホース | 15. ガasket |
| 16. ヒーターパイプ | 17. ウォーターホース | 18. ヒーターホース |

ウォーターアウトレット、ウォーターパイピング

VQ25DET

SEC. 210・211・253



- | | | |
|---------------|----------------|-------------------|
| 1. ウォーターホース | 2. ウォーターアウトレット | 3. ガスケット |
| 4. 水温センサー | 5. 銅ワッシャー | 6. ハーネスブラケット |
| 7. Oリング | 8. ヒーターホース | 9. ウォーターパイプ |
| 10. ハーネスブラケット | 11. ウォーターホース | 12. ラジエーターアッパーホース |
| 13. ブラケット | 14. ホースクランプ | 15. ウォーターバイパスホース |
| 16. ガスケット | 17. ヒーターパイプ | 18. ウォーターホース |
| 19. ヒーターホース | | |

取り外し

- アンダーカバーを取り外す。
- ラジエーター及びシリンダーブロック内から冷却水を抜き取る。「[冷却水](#)」(CO-3 ページ) を参照する。
注意: エンジン冷機状態で作業を行うこと。
- エンジンカバーを取り外す。「[インテークマニホールドコレクター \(VQ25_30DD\)](#)」(EM-17 ページ) 又は「[インテークマニホールドコレクター \(VQ25DET\)](#)」(EM-22 ページ) を参照する。
- エアダクト (外気導入側) エアダクト、エアクリーナーケースを取り外す。「[エアクリーナー、エアダクト](#)」(EM-10 ページ) 参照
- ラジエーターアッパーホース、ヒーターホースを外す。
- 以下は構成図「[取り外し、取り付け](#)」(CO-17 ページ) を参照して各部品を取り外す。

取り付け

以下の注意して取り外しと逆の手順で取り付ける。

ウォーターアウトレット、ウォーターパイピング

- 各ホースは確実に挿入し、パイプのバルジにかからない位置でクランプを取り付ける。
- ウォータアウトレットにウォーターパイプを挿入するときは、Oリングに中性洗剤溶液を塗布する。

A

CO

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

